



令和3年度 学校概要

栃木市立千塚小学校



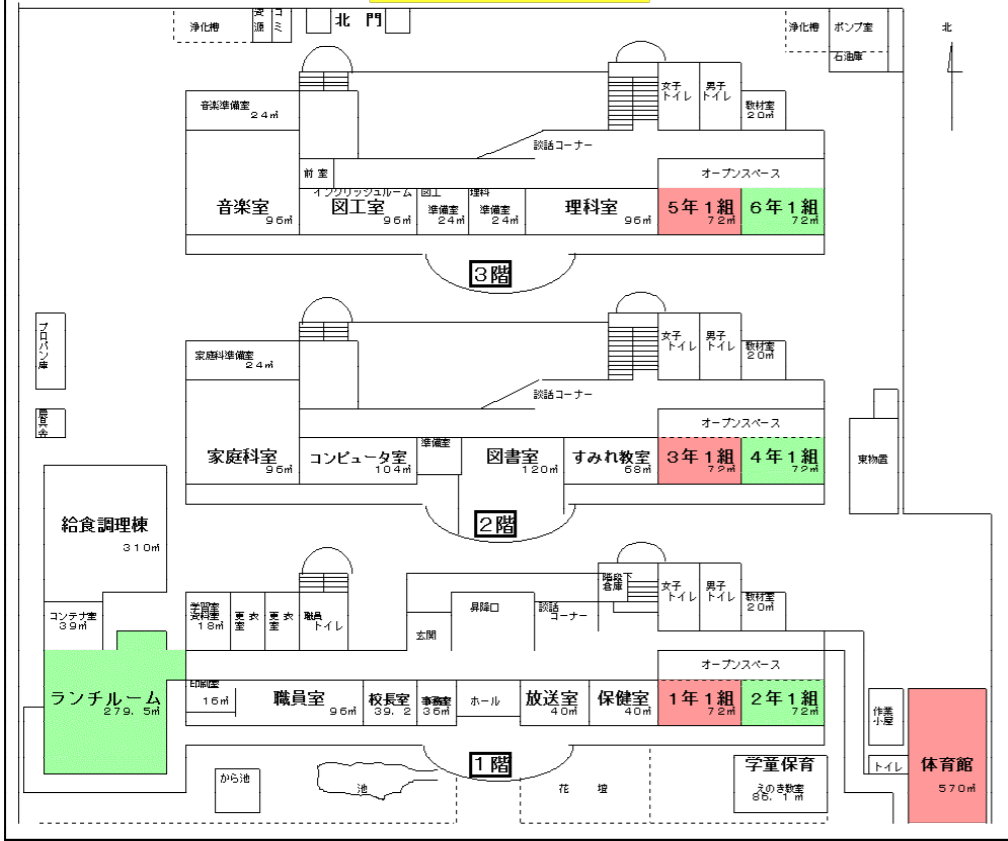
宮ネギの妖精 宮ねっち

〒328-0133 栃木市大森町196
 TEL 0282-31-2381
 Fax 0282-31-2384
 Eメール chiduka01@tochigi-city.ed.jp

学校の歴史

明治 6年	創設 不如学舎と称する	平成10年	新校舎完成
明治18年	公立千塚尋常小学校と改称	平成12年	給食調理棟完成 給食協同調理場操業開始
昭和29年	栃木市立千塚小学校と改称	平成14年	知的特別支援学級新設
昭和40年	校歌制定	平成21年	新プール完成
昭和47年	創立百周年記念式典挙行	平成26年	えのき学童教室新設
昭和53年	体育館落成	平成28～29年	防災教育推進研究校指定(吹上地区)
平成 3年	中国金華市との友好交流	平成31年	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣賞表彰

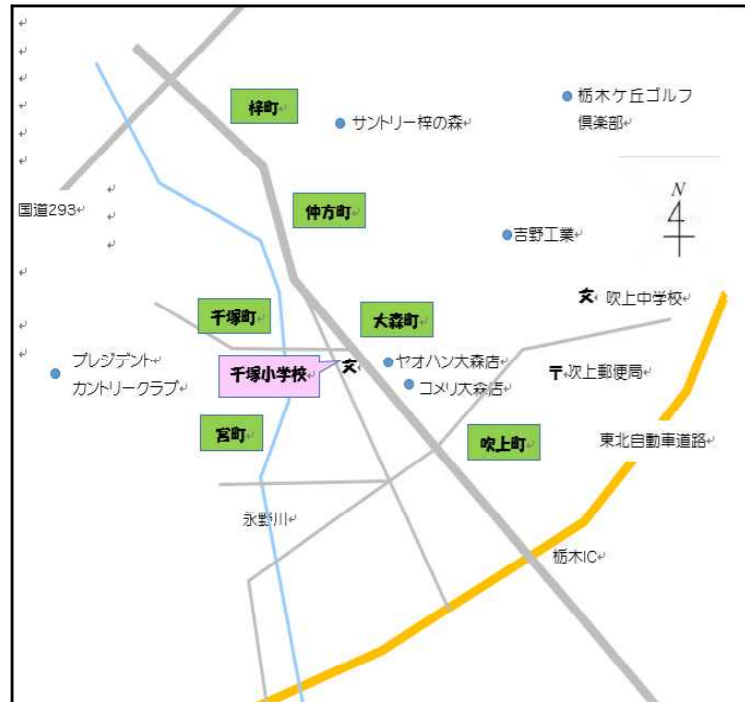
教室等配置図



職員

職名	氏名
1 校長	渡邊 紀子
2 教頭	神澤久美子
3 教務主任	臼井 勝
4 1年担任	春山 萌絵
5 2年担任	山中不二子
6 3年担任	高野 健史
7 4年担任	富山真理子
8 5年担任	梅山 千晶
9 6年担任	岸野 雅之
10 すみれ担任	清水 睦美
11 養護助教諭	竹内 美聡
12 事務主事	二連木あけみ
13 学校栄養士	臼井麻祐子
14 学校支援員	加藤 美香
15 図書館事務員	石川 聖也
16 学校技能員	石塚 辰夫
17 ALT	ジェラルディン フクダ
学校内科医	金子 明弘
学校眼科医	青木 和加
学校耳鼻科医	芳賀 雅士
学校歯科医	古澤 正克
学校薬剤師	加藤 雅貴

学区図



アクセス情報

【電車の場合】

東武線・両毛線の栃木駅より、ふれあいバス寺尾線で「千塚小学校入り口」下車、またはタクシーで約15分

【車の場合】

東北自動車道路栃木ICを降りて北に約1.5km



千塚小学校校歌

作詞 新井榮次郎
 作曲 厚木 鍊一

一 遠くはるかに 筑波山
 春のかすみの たなびけば
 大空高く あげひばり
 なかよくともに 手をとりて
 あかるき顔に よりつどう
 わが学舎よ 千塚小

二 秋澄み透る 永野川
 たかど山なる うるわしく
 山脈つづく 太平よ
 文化の基 培いて
 正しく清く 生いたたん
 わが学舎よ 千塚小

三 麻の葉なえる 夏陽ざし
 男体おろし 吹き荒るる
 冬の寒さも たえしのき
 高き希望を いだきつつ
 強きたえん もろともに
 わが学舎よ 千塚小

学校経営方針 学校力をバランスよく高め、児童の「他者との関わりの中での自己形成」を促し、児童・保護者・地域から、より信頼される学校にする。

学校力の6つの要素とは、①本校ならではの特色ある教育、②保護者や地域との連携・協働、③安全を保障する力（危機管理）、④成長を保障する力（児童指導）、⑤学力を保障する力（学習指導）、⑥職員の組織力。
ここでは、①を中心に記載し、②～⑥については今年度の努力点のみを示す。

1 本校ならではの特色ある教育の充実

学校教育目標達成のための「目指す児童像」と「教育指標」の重点的取組（本校の特色ある教育）

教育目標	美しさの分かるやさしい子ども	よく考え勉強する子ども	健康でたくましい子ども
目指す児童像	1 心のこもった挨拶、返事、言葉遣いのできる子 2 互いのよさや努力を認め合い、思いやりのある子	3 人との関わりの中で、考えを広めたり深めたりし、学び合いができる子	4 めあてをもち、体力づくりや健康な生活に向けて、規律正しく粘り強く努力できる子
重点的取組	① 性の多様性を踏まえた人権教育について、組織的・計画的・臨機応変的な指導をするとともに、集大成としての研究結果（公開授業）を地区内小・中学校に発信する。 ② スキルよりメンタルを重視した挨拶・返事・言葉遣いができるよう、意義を理解させ、指導し向上させる。 ③ ワールドグループでの活動により顔の見える関係づくりや思いやり、自治力を活用した上級生のリーダーシップを育成する。 ④ 「ありがとうの木」や各学級の中で互いに、親切やよい行い、努力等を見付け、認め合うことができる子を育成する。	⑤ ICT機器を効果的・計画的・積極的に活用し、プレゼンテーション力育成を図る。 ⑥ ICT機器の活用や学校内の人と関わる機会を工夫しながら設け、学習への意欲の向上とコミュニケーション力を育成し、自己形成を促進する。 ⑦ 年間図書貸出数の維持と家読習慣を育成させるとともに、ブックトークや放送を使って「聞く読書」を行う。	⑧ 適切なめあての設定と定期的計画的に振り返りを行わせ、めあて達成のための努力を「賞や証」で認め賞賛する。 ⑨ 児童の自治力を育成しつつ、その場指導・繰り返し指導・定期的指導を推進し、健康で安全な生活と規律を向上させる。 ⑩ 体力向上に向けて、業間運動の工夫や外遊びの奨励、体育の授業の運動量の確保を行う。
教育指標	「ふるさとを忘れない、世界の中の日本人」		
重点的取組	総合の時間を中心に、年間指導計画に次の観点を位置付け、その育成に努める。 ⑪ 特に地域の自然や社会に目を向け、課題を見付け、体験的・協同的学びを通して、ふるさとのよさを知り、大切にしていこうとする態度を育てる。 ⑫ 体験的な課題解決的な学習を通して、諸外国の異文化や価値観を知り、広い視野をもってそれらを尊重し、その上で日本のよさや伝統文化について理解を深め、大切にしていこうとする態度を育てる。		

2 本校ならではの特色ある家庭や地域との連携・協働

- P T A活動やおやじの会の活動に積極的に協力する。
- H Pや各種たよりの内容を工夫する。また、教員はHPに月3回以上のUPを行う。
- 正しい生活習慣の育成、充実した家庭学習の実施に向け、家庭の協力を得られるよう連携して取り組む。
- 「児童の登下校の安全確保に関する ①旗当番編成 ②登下校班編成 ③見守りボランティア」について、情報を共有し、連携・協力する。
- 創立150周年記念式典に向けて、計画的に準備・実行委員会等を運営する。
- コロナ禍における学校教育の現状を共有し、業務や意義の小さい行事等について縮小削除していく。

3 安全の保証(危機管理)

- 生命尊重・人権尊重
- 学校安全・感染症対策
- 組織的な児童トラブルの適切な処理

5 学力の保証(学習指導)

- 他者との関わりの中での自己形成の重視
- 一人一研究授業による授業力の向上
- 家庭学習の充実
- 特別支援教育の充実

4 成長の保証(積極的児童指導・学業指導)

- 規律と自由の重視・両立
 - 指導・賞賛・傾聴の重視
 - 望ましい集団の育成の充実
 - 正しい規範・規範の具体策としての自治力の活用
- ### 6 職員の組織力の向上
- 学校評価をもとにしたPDCAの重視
 - 学校課題研究の重視
 - 凡事徹底
 - 具申や提案が重なる組織 (5) 働き方改革



児童数・PTA会員数

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他	合計
男	14	8	6	11	11	7	2	59
女	12	8	10	9	14	12	0	65
計	26	16	16	20	25	19	2	124
PTA会員	18	10	13	13	25	19	2	100

日課

普通日課表		○朝の活動	○放課後
児童登校8:05		月 漢字練習	現職教育・研修
学びタイム	8:05～ 8:20	火 読書・読み聞かせ	課外活動
朝の会	8:20～ 8:30	水 計算習熟	職員会議・研修・放課後教室
1校時	8:30～ 9:15	木 立腰・作文	課外活動
2校時	9:20～10:05	金 計算習熟	課外活動
業間	10:10～10:25	○ 毎週水曜休休み ロング45分 ワールドグループでの共遊	
3校時	10:45～11:30	○ 毎週水曜放課後 放課後教室(15:10～16:10)	
4校時	11:35～12:20	○ 児童下校時刻	
給食	12:25～13:10	月曜 1, 2年	14:45
清掃	13:40～13:55	月曜 3～6年	15:35
5校時	14:00～14:45	水曜 一斉下校	15:05
6校時	14:55～15:40	他 5校時授業	15:05
職員退勤	16:30	他 6校時授業	15:50

主な学校行事

4/ 9 入学式	10/ 8 栃木地区陸上交歓会
4/26～4/30 家庭訪問	10/ 9 P T Aえのき祭
5/14 交通安全教室	10/20 ハッピー子育て講座
5/19 新体力テスト	11/11～12 6年修学旅行
6/ 5 運動会	11/17 校内持久走大会
6/11 プール開き	12/13～15 5年臨海自然教室
6/23～24 4年宿泊学習	1/26 一日入学
9/15 創立記念日(満148年)	2/28 6年生を送る会
9/29 授業公開(性の多様性)	3/18 卒業式

教育振興会役員

高久 信夫(千塚)
 峰岸 松司(宮)
 奈良部 晃(吹上第3)
 大竹 文夫(野中松原)
 金子 和宏(吹上新道)
 押山 悦夫(大森)
 厚木 恵則(仲方)
 高久 明夫(梓)

学校運営協議会

佐藤 秀則
 石川 恵一
 奈良部正幸
 藤元亜由美
 黒田 尋樹
 高久 知枝
 酒巻 清江

PTA執行部員

会長 高久智宏
 副会長 渡邊敏和 藤元亜由美
 大橋浩之
 庶務 奈良部恵子 矢野直政
 中島美佐子
 会計 名淵正訓 荒川総士
 (監査 名淵佳代子、岸小百合)

